

# 史跡洲本城跡

ほんまるからめてほくせいしがき

## 本丸搦手北西石垣修復中間報告会 資料

令和4年10月1日(土)

洲本市教育委員会

### 1 はじめに

洲本城跡は、淡路島中央東側、大阪湾に面した標高約133mの三熊山山上に位置します。三熊山の北麓にも城が築かれ、洲本城(上の城)と区別するため、洲本城(下の城)と呼ばれています。

城は、戦国時代に淡路水軍を率いた安宅(あたぎ)氏によって築かれたと伝わります。戦国末期から江戸初期にかけての石垣の変遷が見られ、全国的にもめずらしい東西2条の登り石垣が残る貴重な城跡として、平成11年1月14日に国の史跡に指定されました。



史跡洲本城跡指定範囲図

### 2 縄張り

現在残る石垣など遺構のほとんどは、天正13年(1585)から慶長14年(1609)までの脇坂安治が城主だった時代のものです。

主郭部は本丸・南の丸・東の丸でこれらの外周は高石垣で囲われています。主郭部と下の城を繋ぐ2条の登り石垣が城をより強固にしており、洲本城最大の特徴となっています。

主郭部の外側にも、武者溜や西の丸、馬屋など主郭部を補完する曲輪があります。



### 3 本丸搦手北西石垣修復工事

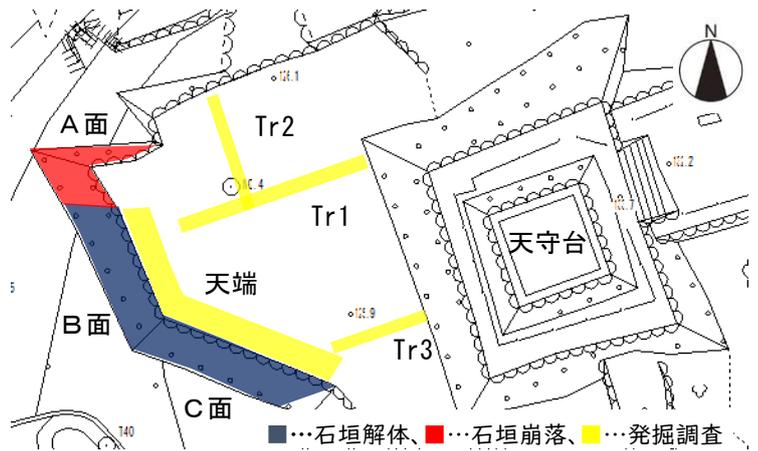
令和3年度から修復予定であった本丸搦手北西石垣の一部が、令和3年8月の豪雨で崩落しました。当初計画を変更して、令和3・4年度で石垣の解体・積み直し及びそれに伴う発掘調査を実施しています。

#### ◆令和3年度

- ① 発掘調査…石垣B・C面の天端
- ② 石垣解体…石垣B・C面の上部

#### ◆令和4年度

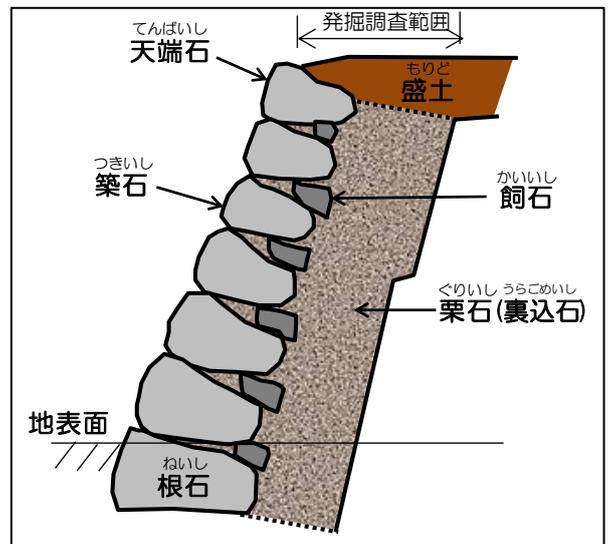
- ① 発掘調査…曲輪内 (Tr1~3)
- ② 石垣解体…石垣A面、B・C面の下部
- ③ 石垣積み直し…石垣A・B・C面



石垣修復箇所および発掘調査位置図



B面 崩落後（左側が崩落部分）



石垣断面図と名称

#### (1) 発掘調査

##### ① 解体石垣天端部分

B・C面の解体石垣天端部分の2.0mの範囲について、解体に先立って遺構の有無について発掘調査を実施しました。調査の結果、本来あるはずの栗石がほとんど確認されませんでした。また、天端石の控え部分が極端に下がっていたことから、石垣の崩れに伴い栗石とともに下がったものと思われます。



控え部分が極端に下がった天端石

##### ② 本丸搦手北西曲輪

石垣崩落の主原因は、雨水の影響と考えています。城が機能していた時代は、排水機能があったと考えられますが、廃城後はその機能が失われ、見えなくなってしまいました。そこで、当時の排水機能の有無を確認する調査を実施しました(トレンチ(Tr)1~3)。

調査の結果、排水機能は確認されませんでした。本丸内の雨水は、この曲輪ではなく搦手口から南側に流していたと考えられます。



Tr 1

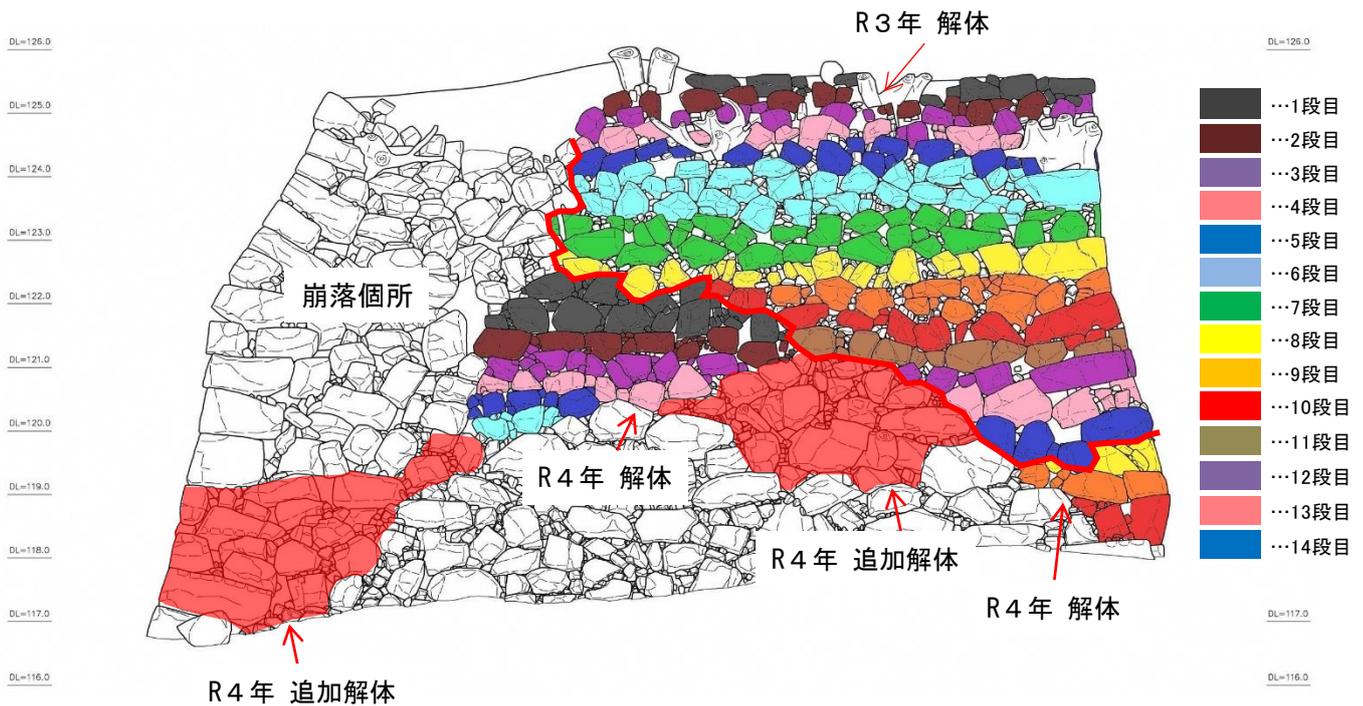
## (2) 石垣解体

石垣面の緩みや築石の割れが見られる箇所について、令和 3・4 年度でB・C面の石垣解体を実施しました。

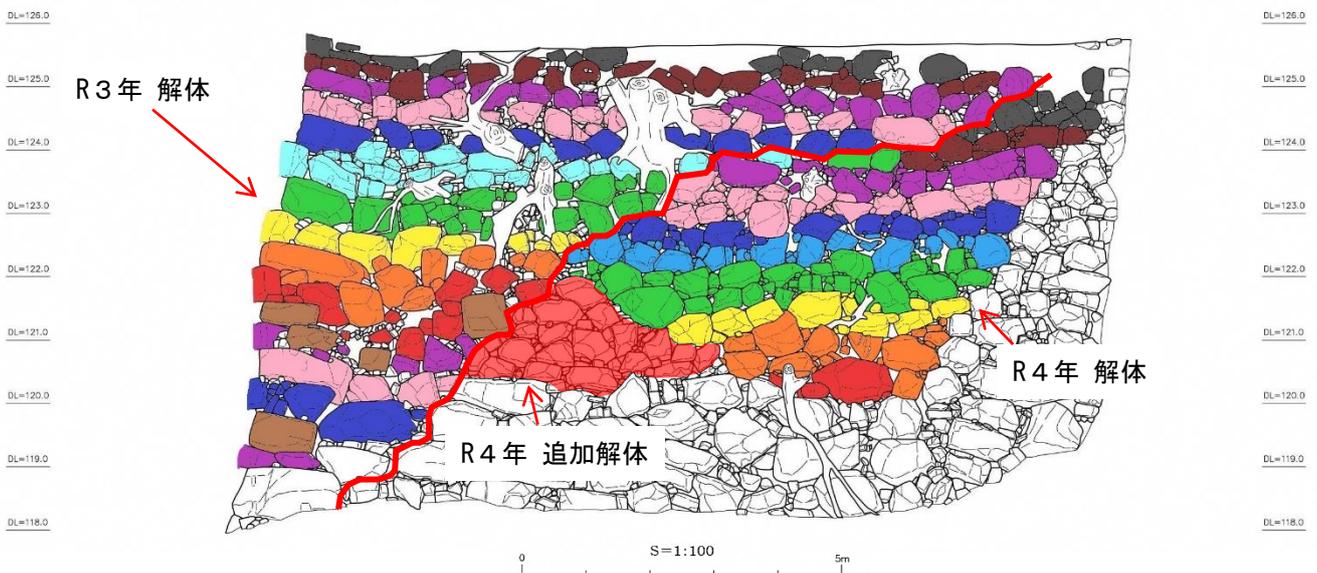
両石垣面は、他の曲輪の石垣と比べて礫岩（れきがん）が非常に多く使われていました。その礫岩が、ことごとく胴割れ（築石の真ん中で横方向に割れること）を起こしており、中には粉々に割れている築石もありました。これらが割れたことで築石裏側の栗石層に空洞ができ、石垣崩落の原因となったと考えられます。B面では築石が全て割れている列も確認されました。また、栗石層内に洲本城ではめずらしい一石五輪塔が出土しています。



粉々に割れた築石



B面 解体範囲

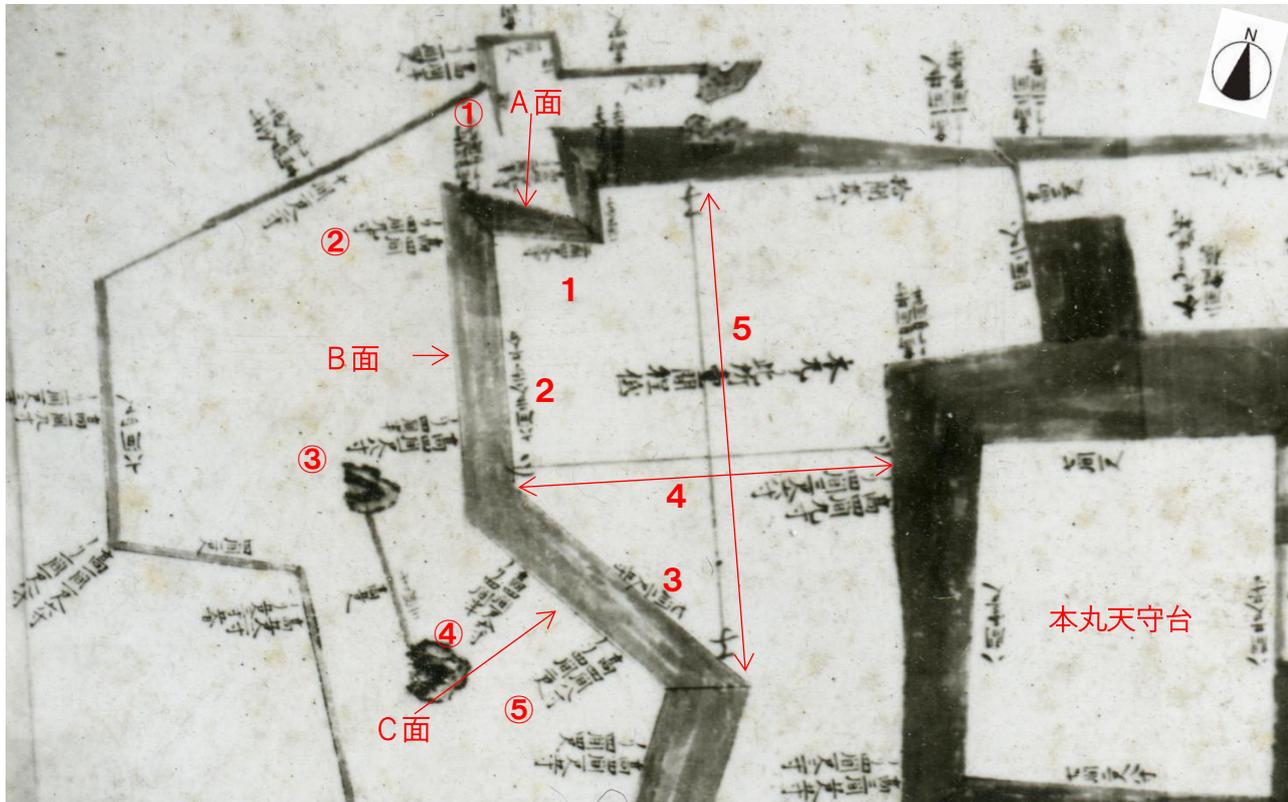


C面解体範囲

### (3) 石垣積直し

洲本城は、江戸時代の享和二年（1802）、徳島藩によって描かれた絵図があります。「須本御山上絵図」と呼ばれるもので、石垣の長さ、高さ、のり高が記録されており、洲本城の石垣の測量図面です。洲本城跡の石垣修復は、全国的にもめずらしいこの絵図を元に復元してきました。

今回も、その絵図のデータに基づき積直しを行う予定です（下図参照）。



享和二年（1802）『須本御山上絵図』国文学研究資料館蔵（解体箇所部分）

表1 石垣勾配

No.	面	高さ		ノリ高		底部長さ	勾配
①	A	四間一寸	7.30m	四間九寸	7.54m	1.88m	2分5厘
②	B	四間	7.27m	四間九寸	7.54m	1.99m	2分7厘
③	B	四間一尺八寸	7.81m	四間半	8.18m	2.43m	3分1厘
④	C	四間一尺六寸	7.75m	四間半	8.18m	2.61m	3分3厘
⑤	C	四間八寸	7.51m	四間二尺	7.87m	2.35m	3分1厘

表2 石垣天端など

No.	面	長さ		備考
1	A	二間四尺三寸	4.93m	
2	B	六間二尺二寸五分	11.58m	
3	C	七間二尺五寸	13.48m	
4	—	九間一尺	16.66m	本丸天守台西側裾からB面天端まで
5	—	拾二間一尺	22.11m	C面天端南端からA面西側の天端まで